

釧路南ロータリークラブ会報

第19回 例会報告 2008.11.21 通算1278回

・点

鐘

北上会長

・会長挨拶

・ロタリーソング

「それでこそロータリー」



ソングリーダー 佐野 実会員



先週の荒谷元会員の突然の御訃報には非常にビックリ致しました。非常に長い間の会会計として非常に良い仕事をされていましたが、あの帳面はさすがプロ、立派な仕上がりが今でも脳裏に焼きついています。私、後から遅ればせで、申し訳なかったのですが先日、ご焼香お参りしてご挨拶に伺いました。政治経済共に混迷の極みであります。安定した世界中の家庭からの明るい家族の笑顔が究極の幸せであります。その一翼を担えるロータリークラブの存在はどこかにか、捕らえられれば誇りを感じ寄付、奉仕の意欲も献身的な活動と相まって進める人々が、居るのではと、勝手に思ったりもするこの頃であります。まず身近な本、釧路南ロータリークラブの伊東良孝会員の卓越した政治、経済センスに北海道の未来像を重ねて、期待しています。ぜひ、実現を願い世界のロータリー精神を持って世界平和の夢の実現に邁進闊歩を願うものであります。本日のプログラムのテーマはロータリー財団委員会ではありますが皆様に寄付のご協力をお願いし、且つ新規会員の件ですが、来週のクラブフォーラムでお話、頂きながら進めてまいりたいと思います。物故元会員の葬儀取り扱いです。20年以上の在籍の、元会員への敬意として会旗の掲揚、新聞広告への承認、葬儀花輪の贈呈、香典1万円の支出位の餞は同じ会の仲間として、出来るべく国の特区の様に提案したいと思っています。

・お客様と来訪ロータリアンの紹介

釧路北ロータリークラブ 松原 久幸様



・入会記念祝

清水 哲会員 H 4. 11. 27 (16年目)

長江 勉会員 H 4. 11. 27 (16年目)

・誕生祝

伊東 良孝会員 S 23. 11. 24 (60歳)

・結婚祝

花田 善廣会員 S 59. 11. 24 (24年目)

・幹事報告



- * 厚岸RCより会報を拝受しております。
- * バーミンガム大会参加旅行募集案内送付の案内が届いております。
- * 次週例会はクラブフォーラムとなっております。
- * 本日、例会終了後、理事会となっております。
- * 昨日、当南クラブのOBの前田とみ子さんから連絡があり「命燃やして」北村ともみで歌手デビューしました。カラオケ有線ランキング31位です。釧路に来る機会があれば例会に出席したい。リクエストよろしくをお願いします。

・委員会報告

親睦委員会

・本日のニコニコ献金

清水	哲会員	入会記念祝として
長江	勉会員	入会記念祝として
伊東	良孝会員	誕生祝いとして
花田	善廣会員	結婚祝いとして

出席委員会

会員 26 名 14 名出席メイキャップ 5 名 73%

・本日のプログラム

「ロータリー財団月間に因んで」

担当 ロータリー財団委員会

船戸国際奉仕副委員長



本日は小野ロータリー財団委員長がお休みとの事で私の方からお話をさせていただきます。

先日は中標津RCの50周年記念に出席してきました折に、当クラブの伊東会員も急遽当日登録で出席させていただき例会では南クラブの紹介の後に伊東良孝会員も前市長として忙しい中来ていただきましたと紹介いただき中標津RCさんには大変気をつけていただきました。

本日は財団の話ですが、出席者の顔ぶれを見ますとベテランばかりで私が説明するまでもない様な気がします、身近な話をしようと思います。最初に国際ロータリーが設立後、何年か後に財団を設立しました。財団の中で行われている事業は、国際ロータリー事体が範囲が広くなり、寄付を募るとかその他寄付金を有効に使うという事について財団を設立したというのが設立の経緯です。財源がなければ何も出来ません。毎年、ガバナーやガバナー補佐からお話されている通り、ポールハリスフェローになってほしいとこれは日本円にして10万前後。

後はベネファクター、これはロータリーの恒久基金であります。これらの他に米山奨学金というのがあります、これは日本独自のものです。

ポールハリスフェローが2度目の人は、マルチポールハリスフェローとなります。3度、4度、5度と何度でも結構です。最近では100万円単位の大口径寄付というのもあります。これはガバナー経験者が多いようです。これら世界中から集められた

寄付をどのように使うかという大きく分けると教育的事業と人道的な事業と2つあります。

教育的事業は国際親善奨学生制度というのがあります。1年限りあるいは2年3年というように分けられます。本クラブとしては奨学生を推薦した事と手掛けた事ありません。英検は1級クラスの資格がなければ難しいという事です。日本のロータリーで派遣した奨学生の中で、最も有名な方は、国連の難民高等弁務官などを務められました緒方貞子さんという方です。国際的な活躍をしております。

次に関係の深いGSE（グループ・スタディ・エクスチェンジ）ですがこれは私は何度も経験しており、おわかりでしょうが、世界中で何百や何千単位での組み合わせで行われていると思います。昨年から今年にかけてのタイとのGSE交換については、当初800万円の予算を作ってもらいましたが、実際には700万円少々で終え、100万円くらいは残せたと思います。大体600万円から700万円くらいの費用がかかります。世界中の2カ国間での事業となります。GSEの昨年の事業がちょうど40周年となりました。この地区では13回目くらいとなりました。

GSEのいいところは、私も12年前に分区代理をしていた時に、アメリカのフロリダ地区とGSEの交換をした折に、当初予定されていましたが団長が病気で倒れられ急遽、私が代役で行ってきた事があります。アメリカでは人々との交流の中で、英語もペラペラ話せた訳でもなかったのですが、ロータリアン同士の気持ちは合通じまして、その後未だにクリスマスカードのやり取りをしている人が何人も居ります。その中の一人がその翌年に日本に来る機会があり、私のところで2泊程して、当クラブの例会にも出席していった経緯もありました。

先日のタイの方々も団長のツイさんが戻ってから色々日本のいいところをご主人に話したとみえて、今年の10月の地区大会に主人と一緒にいきたい、しかもホームステイしたいという事となり、私のところでホームステイをしていきました。2晩お世話しましたが、ただ泊まって帰っただけでもう少し家族との交流が持てる余裕がほしかったと思いました。それでも大変喜んで帰っていただき、こういう事業は永く続けられたらと感じております。その他に人

道的補助金プログラムというのがあります。

その中にマッチンググラントというのがあります。当クラブでは花田会員が地区の世界社会奉仕委員として、タイやインドネシアマッチンググラントの事業を実施しております。マッチンググラントは昔は同額補助金と言われていた制度でして、財団の方から地区やクラブの持ち分の同額分を出してもらえるという制度で日本国内でマッチンググラントをやったというケースは私の知る限りではありませんが、いわゆる開発途上国タイやインドネシアでは、水の問題があり地域により子供達がきれいな水を飲めないという事で浄化水槽の設置をマッチンググラントによりお金を作り実施しております。それから災害復興に対する支援、私も2度程地区の委員を務めたポリオプラス、これは小児麻痺、そしてプラスというのは法定伝染病です。数年前にロータリー100周年を記念して、地球上からポリオを駆逐しようというキャンペーンを始めた事がありましたが、最終年度に委員長としていた経緯もあり、皆様にも協力を強くお願いした経緯もありましたが、又、現在キャンペーンが繰り広げられております。特にアフリカではまだポリオで苦しんでいるところもあります。

まだ5カ国でポリオが残っており、撲滅のため、キャンペーンが行われております。

ぜひ皆様にも協力していただきたい。今日は特に関係の深いところだけ話をさせていただきました。

・ 次回のプログラム

11月28日(金)

「クラブフォーラム」夜間例会

会場 みの幸

担当：四大奉仕委員会

・ 点 鐘 北上会長

今週の会報担当：長倉巨樹彦会員